

平成29年度 自主事業計画書

No.	事業名 (教室名)	募集対象	募集人数 (人)	一人 当たり 参加費 (円)	自主事業予算額					
					総経費 (円)	収入		支出		
						指定管理料 から充当 (円)	参加費 (円)	講師謝金 (円)	材料費 (円)	その他 (円)
1	あかちゃんのおはなし会	2歳未満児と保護者	14人×11回	0	24,000	24,000	0	22,000	0	2,000
2	大人のためのおはなし会	成人	12人×6回	0	17,000	17,000	0	12,000	0	5,000
3	バックヤードツアー	一般	10人×3回	0	0	0	0	0	0	0
4	西区を知りたい!	成人	15人×3回	200	9,000	6,000	3,000	7,500	0	1,500
5	肩こり・腰痛改善体操	成人	12人×4回	700	21,500	13,100	8,400	20,000	1,500	0
6	パパへお花のプレゼント	小学生と保護者	10人(5組)×1回	800/組	10,500	6,500	4,000	5,000	5,500	0
7	スタンプラリー	一般	200人	0	3,000	3,000	0	0	500	2,500
8	夏休み工作 トールペイント	小学生	10人×1回	200	7,000	5,000	2,000	5,000	2,000	0
9	野毛山動物園出張講座	小学生と保護者	12人(6組)×1回	0	0	0	0	0	0	0
10	月と星のおはなし会	小学生と保護者	30人(15組)×1回	0	7,000	7,000	0	5,000	0	2,000
11	開館1周年記念 サロンコンサート	一般	50人×1回	300	29,000	14,000	15,000	20,000	0	9,000
12	開館1周年記念 映画会	成人	30人×1回	300	37,000	28,000	9,000	0	0	37,000
13	開館1周年記念 講演会	成人	40人×1回	150	13,000	7,000	6,000	10,000	0	3,000
14	ハロウィンパレード	3歳～小学生	30人	100	8,000	5,000	3,000	0	5,000	3,000
15	紅茶のおいしい入れ方	成人	20人×1回	400	15,000	7,000	8,000	5,000	10,000	0
16	クリスマスおはなし会	未就学児と保護者	12組24人	0	5,000	5,000	0	3,000	0	2,000
17	おもちゃの病院	一般	10人	0	3,000	3,000	0	3,000	0	0
18	本の福袋	一般	10人×1回	0	2,000	2,000	0	0	2,000	0
19	百人一首を読む	小学生～成人	15人×2回	200	10,000	7,000	3,000	10,000	0	0
20	鬼と早春のおはなし会	小学生	15人×1回	0	7,000	7,000	0	5,000	0	2,000
21	春の折り紙	成人	15人×2回	700	23,000	12,500	10,500	10,000	13,000	0
22	協会連携事業 盆踊り	一般	(300)	0	10,000	10,000	0	0	0	10,000
23	協会連携事業 オセロ大会	小学生	(30)	0	10,000	10,000	0	0	0	10,000
合 計					271,000	199,100	71,900	142,500	39,500	89,000

事業ごとの事業内容等を自主事業別計画書に記載してください。

平成29年度 自主事業別計画書

No.	事業名（教室名）	目的・内容等	実施時期	回数
1	あかちゃんのおはなし会	[読書活動推進事業] 2歳未満の乳幼児が対象だが、誕生前の乳児親子が主な参加者となる。自宅でも親子のスキンシップに役立つような手遊び、身体あそび、わらべうたをプログラムに取り入れる。わらべうたや絵本の読み聞かせは耳で言葉を楽しむ最初の体験として重要な場である。保護者がひととき穏やかな時間が持てるような詩も紹介する。	5月～3月	11回
2	大人のためのおはなし会	[読書活動推進事業] 大人にも絵本を楽しんでほしいという趣旨のもと、絵本、詩、わらべうた、語り等色々な切り口のプログラムを提供する。また季節に合わせた絵本等の紹介(ミニブックトーク)も実施する。参加者の感性を喚起し、新たな興味へのきっかけ作りとする。徐々に内容がレベルアップし、講師の研鑽にも繋がっていく事が望ましい。	4月、6月、8月、10月、12月、2月	6回
3	バックヤードツアー	[読書活動推進事業] 普段利用者が立ち入る事が出来ない書庫に案内し、説明と共に蔵書を紹介する。当日は予定時間を設けず、随時希望者を案内する。書庫にある珍しい図書-昭和40年代からの児童雑誌、美術全集、文学全集等々、利用者の新たなニーズを掘り起こすきっかけとしたい。	4月、7月、1月	3回
4	西区を知りたい!	[地域連携] 浅間台地域ケアプラザ共催 28年度は浅間町周辺を知る事を目的としたが、29年度はその周辺にエリアを広げ、運河と橋をテーマに西区を探訪する。新田開発と共に発展してきた地域の名残として、由緒ある橋や地名を巡りその歴史を学び、実際に歩いてみる。地域の居住者とも連携し、情報の提供や講座での講師もお願いしたい。	5月	3回
5	肩こり・腰痛改善体操	[健康推進事業] 湿度の高い時期に心身のバランスを整え、かつ肩こり・腰痛に効果のある体操を学ぶ。マンション内居住者への周知により参加者を増やし、参加者同士がコミュニケーションを図れる様な集いの場ともなる様期待する。1階アクティブスペースを借用する。	6月	4回
6	パパへお花のプレゼント	[青少年育成事業] 親子で協力しひまわり等季節感あふれる材料を使って、フラワーアレンジの作品を完成させる。材料は文具用のはさみでも切れるものを使用し、初めて花を扱う子供でも無理なくできるよう指導する。メッセージを添えて父の日のプレゼントとして贈る。	6月	1回
7	スタンプラリー	[読書活動推進事業] 藤棚地区センター・西地区センター共催 28年度読書習慣のイベントとして実施し、図書を借りる励みになってよと、どの年代層にも好評であった。交換する景品の種類をそれぞれ3施設で分けて配布する。他施設を利用する機会が得られ、各施設周知のためのPRともなる。28年度の実績は171人であった。29年度はPRをより強化し、それ以上の集客を目標とする。	11月	1回
8	夏休み工作 トールペイント	[青少年育成事業] 自宅にある空きガラス容器を使って、夏らしいデザインの小物入れを作製する。普段普段ゴミとして見ている空きビン等も再利用できる事に気がつき、エコの大切さを学ぶ機会ともなるよう、家庭とも協力して実施する。	7月	1回
9	野毛山動物園出張講座	[青少年育成事業・環境対策事業] 野毛山動物園共催 動物の牙等部位について、実物や映像を使って具体的に説明する。併せて絶滅危惧動物や温暖化による生態系の影響についても触れ、環境について親子で考える機会とする。参考図書:「ライオン1頭:BL出版」	8月	1回
10	月と星のおはなし会	[読書活動推進事業] 平沼集会所共催 小学生対象のおはなし会の要望があり、29年度は実験的に実施し翌年度以降定期的に実施可能かどうか検証する。月と星をテーマにして、親子で楽しめるプログラムを提供する。平沼集会所を会場にして、おはなし会後には施設裏手の庭で星や月を鑑賞する。	9月	1回

平成29年度 自主事業別計画書

No.	事業名（教室名）	目的・内容等	実施時期	回数
11	開館1周年記念 サロンコンサート	[開館1周年記念事業] 利用者、地域の方に感謝の意味を込め、開館して1年のこの時期に開催する。参加型のプログラムとし、大人から子供まで楽しめるプログラムを企画する。1階キッチンスペースを借用し、飲み物等の提供や会場の設営等おひさまプラザとも連携して実施する。	9月	1回
12	開館1周年記念 映画会	[開館1周年記念事業] 開館記念イベントでも好評であった。普段なかなか映画館に足を運べない中高年層に向けてPRし、リバイバルものか時代物を上映する。前回同様この機会に初めて来館した方に、館をPRし利用してもらえるよう周知する。1階カルチャースペースを借用する。	9月	1回
13	開館1周年記念 講演会	[開館1周年記念事業]「絵本の読み聞かせを学ぶ会」共催 未就学児や小学生の保護者・小学校の読書ボランティアに向けて、絵本の選び方・読み方等基本に立ち返って学ぶ機会を設ける。講演会後も利用できるよう、テキストは蔵書の中から選び紹介する。1階カルチャースペースを借用する。	10月	1回
14	ハロウィンパレード	[地域連携・読書活動推進事業] 平沼集会所共催 ハロウィン関連工作、本の読み聞かせの後、仮装をして平沼集会所までパレードする。マンション内居住者や地域の方々とも連携し、交通整理や見守りをお願いしたい。関連図書を10月から館内に掲示する。	10月	1回
15	紅茶の美味しい入れ方	茶葉の性質、お湯の温度等紅茶を入れる上で必要な知識を身につけ、実際に入れ方を試してみる。種類や産地、歴史をはじめ、ティーカップやお菓子まで紅茶にまつわる情報を得て、日常会話の一端とする。お菓子付の講座とし、参加者同士のコミュニケーションにも役立てたい。	11月	1回
16	クリスマスおはなし会	[読書活動推進事業] 通常のおはなし会を拡大し、対象を未就学児まで引き上げてイベント性のあるプログラムを企画する。音楽を取り入れ、参加型のおはなし会とする。11月下旬からクリスマス関連の図書を展示し、併せて貸出ができるよう参加者を誘導する。1階アクティブスペースを借用する。	12月	1回
17	おもちゃの病院	[環境対策事業・青少年育成事業] 「かもめ病院」のドクターが、持ち込まれたおもちゃの故障不具合を修理する場を提供する。目の前で修理することにより、動かないと思っていたおもちゃへの愛着が深まり、子供の「もったいない」「物を大切にする」等の意識が育っていくものと思う。	12月	1回
18	本の福袋	[読書活動推進事業] 藤棚地区センター共催 予め図書を3～5冊選定し袋詰めしたものを福袋として選んでもらい貸し出す。普段あまり貸出のない分野や書庫内の図書からも選定し、大人用には絵本等児童書も含めるものとする。利用者にとっては普段手にとらない分野の図書に触れるよい機会となり、図書への興味がより深く持つことが出来るので、他施設の蔵書も併せて読書活動をPRするよい事業となる。	1月	1回
19	百人一首を読む	[世代間交流・読書活動推進事業] 馴染み深い作品や、事前に参加者からのリクエストも取り入れて作品を選び、歌の意味、作者、時代背景等をやさしく学ぶ。歌の出典となった和歌集も紐解いてみる等、古典に親しむ機会を持つ。平沼高校かるた部の模範演技や、高校生との対決等イベント性のある事業を企画する。	1月	2回
20	鬼と早春のおはなし会	[読書活動推進事業] 小学生対象のおはなし会の要望があり、秋のおはなし会に引き続き実験的に実施し翌年度以降定期的に実施可能かどうか検証する。節分と立春をテーマにして、小学生が楽しめるプログラムを提供する。関連図書を館内に掲示する。	2月	1回

平成29年度 自主事業別計画書

No.	事業名（教室名）	目的・内容等	実施時期	回数
21	春の折り紙	春に向けたテーマで作品を作り、色紙などを使って自宅でも楽しめるよう作品を仕上げる。手先を使う事で脳の活性化にもつながり、また一つの作品を作るという創造性も養われるので、自宅でも継続して遊べるよう館内の類書を紹介する。	2月	2回
22	協会連携事業 盆踊り	各施設で、にしく音頭や市歌をアレンジした「よこはまアラメヤ音頭」の盆踊り練習のワークショップを開き、そこに参加し腕を上げた参加者が腕前を披露するために藤棚地区センターを会場に大盆踊り大会を開催する。 対象者はワークショップ参加者に限定せず、誰でも自由に参加し盆踊りを通じて地域の連帯感の醸成を図る	8月	1回
23	協会連携事業 オセロ大会	各施設でオセロ大会予選を行い、上位入賞者が藤棚地区センターに集まり、協会杯をかけて戦う。 各館の連携事業として取組み区内全域のイベントとすることで、区内9施設の運営する協会の知名度UPを図る。	未定	1回

平成29年度 「浅間コミュニティハウス」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,924,000		19,924,000		19,924,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	対象外
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	72,000		72,000		72,000	
自主事業収入	0		0		0	
雑入	23,000	0	23,000	0	23,000	
印刷代	20,000		20,000		20,000	
自動販売機手数料	0		0		0	
駐車場利用料金収入	0		0		0	
その他（古紙）	3,000		3,000		3,000	
	20,019,000	0	20,019,000	0	20,019,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,261,000	0	12,261,000	0	12,261,000	
給与・賃金	10,999,000		10,999,000		10,999,000	
社会保険料	1,094,000		1,094,000		1,094,000	
通勤手当	83,000		83,000		83,000	
健康診断費	73,000		73,000		73,000	
勤労者福祉共済掛金	12,000		12,000		12,000	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
事務費	961,000	0	961,000	0	961,000	
旅費	10,000		10,000		10,000	
消耗品費	70,000		70,000		70,000	
会議賄い費	15,000		15,000		15,000	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	179,000		179,000		179,000	
使用料及び賃借料	5,000	0	5,000	0	5,000	
横浜市への支払分	0		0		0	行政財産目的外使用料
その他	5,000		5,000		5,000	
備品購入費	100,000		100,000		100,000	
図書購入費	400,000		400,000		400,000	
施設賠償責任保険	40,000		40,000		40,000	
職員等研修費	5,000		5,000		5,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	72,000		72,000		72,000	
手数料	55,000		55,000		55,000	
地域協力費	0		0		0	
事業費	271,000	0	271,000	0	271,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	271,000		271,000		271,000	
自主事業費	0		0		0	
管理費	2,136,000	0	2,136,000	0	2,136,000	
光熱水費	960,000	0	960,000	0	960,000	
電気料金	800,000		800,000		800,000	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	160,000		160,000		160,000	
清掃費	966,000		966,000		966,000	
修繕費	200,000		200,000		200,000	
機械警備費	0		0		0	
設備保全費	0	0	0	0	0	
空調衛生設備保守	0		0		0	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	0		0		0	
共益費	10,000		10,000		10,000	
公租公課	1,125,000	0	1,125,000	0	1,125,000	
事業所税	180,000		180,000		180,000	
消費税	943,000		943,000		943,000	
印紙税	2,000		2,000		2,000	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	3,265,000	0	3,265,000	0	3,265,000	
本部分	3,265,000		3,265,000		3,265,000	
当該施設分	0		0		0	
二一ズ対応費			0		0	対象外
支出合計	20,019,000	0	20,019,000	0	20,019,000	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費収入	0	0	0	0	0	
自主事業費支出	0	0	0	0	0	
自主事業収支	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可収入	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可支出	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成 29 年度 浅間コミュニティハウス 自己評価表

目標設定 の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己 評価
利用者 サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに図書機能の充実した施設が少なく、図書に対するニーズが大きいと考えられるため、地域の声や利用者の動向を把握しながら新刊本を購入したり、より利用しやすい施設を創り上げていく。 ・赤ちゃんから高齢者まで、また男性も参加できるような幅広い年齢層に対応した自主事業を実施する。 ・書庫を活用した事業を展開する。 ・近隣施設と協力した事業を展開する。 ・おひさまプラザとの連携事業も実施していく。 ・地域の教育機関や町内会・子ども会に周知のための働きかけを行う。 ・近隣施設や商業施設（松原商店街など）、また、当施設のすぐ隣である保土ヶ谷区にも働きかけ周知を行う。 ・利用者の負担を軽減しサービス向上を図る為、団体登録を平沼集会所と共有し、情報の交換等も行う。 			

《自己評価》

- A：計画、目標を上回って実施
- B：計画、目標を保持して実施
- C：計画、目標を下回って実施

平成 29 年度 浅間コミュニティハウス 自己評価表

目標設定 の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己 評価
業務運営	<ul style="list-style-type: none"> ・館長の他に 1 名の司書を置き、図書業務の充実を図る。 ・防犯、防災、その他の災害・事故予防のためのマニュアルを作成し、それに沿った訓練を 1 階事業者（おひさまプラザ）と合同で行う。 ・おはなし会等図書を活用した自主事業を行う。 ・図書貸出冊数：33,000 冊目標とする。 ・利用人数：26,000 人目標とする。 ・会議室の稼働率：50%目標とする。 			
職員育成	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの中から副館長代行を配置し、館長・副館長不在時の責任体制を明確にする。 ・個人情報保護の研修を行い、その重要性を認識し、個人情報保護体制を整備する。 ・人権研修・接遇研修・図書業務研修等を行うとともに、日頃から引き継ぎを徹底しスタッフのレベルアップと意識統一化を図る。 ・非常時の対応訓練、防火等自主管理を徹底する。 ・アンケートでいただいた意見等も共有化し改善すべきところは改善していく。 			

《自己評価》

- A：計画、目標を上回って実施
- B：計画、目標を保持して実施
- C：計画、目標を下回って実施

平成 29 年度 浅間コミュニティハウス 自己評価表

目標設定 の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己 評価
財務	<ul style="list-style-type: none"> ・日常清掃全てを委託業者に頼ることなくスタッフ自ら手掛けることで清掃費の軽減を図る。 ・汚破損した本も可能な限りスタッフが修繕を行い利用してもらう。 ・節電の励行や工夫により、電気料金の抑制を図る。 			
その他				
利用者等 の意見	<利用者等の意見の把握方法> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者会議の実施 ・利用者アンケートの実施 ・自主事業終了時のアンケート実施 ・利用者の生の声の聞き取り ・利用者からの意見に対する回答を掲示 	<利用者等から寄せられた意見・要望>	<意見・要望に対する対応>	

《自己評価》

- A：計画、目標を上回って実施
- B：計画、目標を保持して実施
- C：計画、目標を下回って実施